
【クレジットカードに関する総合調査】 2013年度版 調査結果レポート

株式会社ジェーシービー
ブランドマーケティング部

JCBでは2000年以降、毎年、消費者の皆様(JCB会員・非会員を含む)を対象としてクレジットカードの利用に関する消費活動についての実態を把握することを目的とした調査を実施してまいりました。

この度、本年実施の調査結果がまとまりましたので「クレジットカードに関する総合調査2013年度版」をご報告いたします。本資料では、クレジットカード市場(保有・利用実態)について調査を実施し、その結果をまとめております。

本資料を、消費動向を把握する上での一つの素材として、社会的な分析にご利用いただければ幸いです。

今後も、JCBは、本調査を通して、多様化する個人消費市場に対応し、サービスの拡充に取り組んでまいります。

目 次

I. 調 査 設 計	3
II. 結果の概要	4
1. クレジットカード保有率	5
2. クレジットカード保有・携帯枚数	6
3. クレジットカード利用頻度	7
4. クレジットカード利用金額	8
5. 保有クレジットカードごとの利用理由	9
6. クレジットカード利用業種	11
7. 支払いの際のクレジットカード利用割合	14
8. 月平均生活費とクレジットカード利用額	16
9. 月平均生活費とクレジットカードの保有状況	17
10. 電子マネーの利用状況	18
11. デビットカードの利用状況	19

I. 調査設計

- 調査時期 : 2013年 9月
- 調査方法 : インターネット調査
- 調査地域 : 全国
- 調査対象者 : 3,500人（20代から60代の男女、学生を含む）
※登録型モニターへの依頼・アンケート回答任意

当報告書における表示内容と注意点
当報告書では、本年度(2013年度)の調査結果を中心に、2009年度～2012年度との比較を含めて作成しております。

<回収サンプル数>

		20代	30代	40代	50代	60代	小計	全体			全体	
全体	男性	331	383	323	386	317	1740	3500		全体	3500	
	女性	322	378	322	396	342	1760					
北海道	男性	27	29	27	34	27	144	300	→	北海道	300	
	女性	27	31	29	38	31	156					
東北	男性	14	14	15	18	14	75	150	→	東北	150	
	女性	13	14	15	18	15	75					
北関東	男性	14	16	14	18	14	76	150	}	首都圏	1050	
	女性	13	15	14	18	14	74					
首都圏	男性	92	111	85	93	79	460	900				
	女性	84	103	79	92	82	440					
甲信越・北陸	男性	13	16	14	18	14	75	150	→	甲信越・北陸	150	
	女性	13	15	14	18	15	75					
愛知	男性	30	37	28	31	27	153	300	}	東海圏	450	
	女性	28	34	26	31	28	147					
東海その他	男性	14	16	14	17	14	75	150				
	女性	13	16	14	17	15	75					
近畿	男性	46	55	43	53	47	244	500	}	近畿圏	650	
	女性	47	57	45	56	51	256					
近畿その他	男性	13	15	14	17	14	73	150				
	女性	14	16	14	18	15	77					
中国	男性	13	15	14	18	14	74	150	}	中国・四国	300	
	女性	13	15	14	18	16	76					
四国	男性	12	15	14	18	14	73	150				
	女性	13	15	14	19	16	77					
福岡	男性	30	30	26	33	26	145	300	}	九州圏	450	
	女性	30	32	28	36	29	155					
九州その他	男性	13	14	15	18	13	73	150				
	女性	14	15	16	17	15	77					

(実数)

- 集計方法 : ウェイトバック集計（回収したサンプルを市場ボリュームに換算して集計を行う）
各サンプルに、母集団※と回収サンプル数から割り出した「ウェイトバック値」を掛け合わせて集計サンプルを算出
〈※〉2010年国勢調査確定値を用いた

	北海道	東北	北関東	首都圏	甲信越・北陸	愛知	東海その他	近畿	近畿その他	中国	四国	福岡	九州その他	TOTAL
母集団	3,587,238	5,824,419	4,535,954	24,267,142	5,274,090	4,894,255	4,916,458	11,175,216	2,428,292	4,713,990	2,454,081	3,278,011	5,839,470	83,178,616
母集団比率	4.31%	7.00%	5.45%	29.16%	6.34%	5.88%	5.91%	13.44%	2.92%	5.67%	2.95%	3.94%	7.02%	100%
回収数	300	150	150	900	150	300	150	500	150	150	150	300	150	3500
回収比率	8.6%	4.3%	4.3%	25.7%	4.3%	8.6%	4.3%	14.3%	4.3%	4.3%	4.3%	8.6%	4.3%	100%
ウェイトバック値	0.503	1.634	1.272	1.134	1.479	0.686	1.379	0.940	0.681	1.322	0.688	0.460	1.638	
ウェイトバック後サンプル	151	245	191	1,021	222	206	207	470	102	198	103	138	246	3,500
ウェイトバック後比率	4.31%	7.00%	5.45%	29.16%	6.34%	5.88%	5.91%	13.44%	2.92%	5.67%	2.95%	3.94%	7.02%	100%

掛け合わせる

※ 2011年度までは、「1番多く使うカード」～「3番目に多く使うカード」までを調査対象としていたが、2012年度、2013年度は、対象を「1番多く使うカード」～「2番目に多く使うカード」までに変更した。当報告書においては、2011年度以前のデータは2012年以降の形式に合わせ再集計して掲載している。

II. 結果の概要

総 括

■クレジットカード保有率は87%。平均保有枚数は3.3枚。

クレジットカード保有率は、2009年から減少傾向がみられ、2013年は87%であった。20代の保有率は男女ともに他の年代と比べて低く、80%を下回る。
一人あたりの保有枚数は平均3.3枚で、昨年より減少。また、携帯枚数（実際に持ち歩くクレジットカードの枚数）は平均2.1枚で、こちらも昨年より減少している。

■利用が多いクレジットカード上位2枚までは、利用頻度・金額ともに微増。

1番多く利用しているクレジットカードは、1ヶ月あたり平均5.5回、5.0万円利用されている。この1番多く利用しているクレジットカードは、利用頻度・金額ともに昨年と比べて、若干ではあるが増加している。
2番目に利用しているクレジットカードも同様に、昨年比で微増傾向が見られた。

■「ポイント・マイル」や「入会費・年会費の安さ」など利得性が重視されている。

1番多く利用するクレジットカードを利用する主な理由は、「ポイントやマイルが貯めやすいから」が55%で最も高く、消費者の「ポイント・マイル」への関心の高さがうかがえる。
2番目に多く利用するクレジットカードについては、「入会費・年会費が他社と比較して安いから（無料含む）」が43%と最も高い。この理由は、1番多く利用するクレジットカードでも高く、「入会費・年会費」はクレジットカード利用の重要な要素となっている。
その他、「日常的に利用している銀行・郵貯などの口座を利用できる」「自分のよく利用するお店で割引などのサービスがある」という理由も高く、普段から接点のある場所でのサービスが、クレジットカード利用を促進させていると考えられる。

■「携帯電話」、「ガス料金」、「電気料金」など、毎月発生する支払いでのカード利用が増加している。「家電量販店」、「高速道路料金」の利用は昨年から減少。

クレジットカードで支払いを行っている業種は、「オンラインショッピング」や「携帯電話」「スーパーマーケット」が多い。日常的な買い物でカードは利用されている。
「携帯電話」「ガス料金」「電気料金」や「プロバイダー料金」等の、毎月発生する支払いでのカード利用が増加。「家電量販店」「高速道路料金」では昨年から利用が減少している。

■生活費は微減。クレジットカード利用額、クレジットカード利用割合はともに微増。

世帯あたりの月平均生活費は、2010年から減少傾向にある。2013年のクレジットカード利用割合は、昨年から増加している。

■電子マネーの保有・利用ともに増加傾向。デビットカードの保有・利用とも減少。

電子マネーは保有率72%、利用率59%で、2011年から増加傾向。電子マネーの利用業種は「鉄道・地下鉄・バス」が最も多い。
デビットカードは保有率17%、利用率5%で、2012年から減少。主な入会理由は「金融機関のキャッシュカードについてきたため」であった。

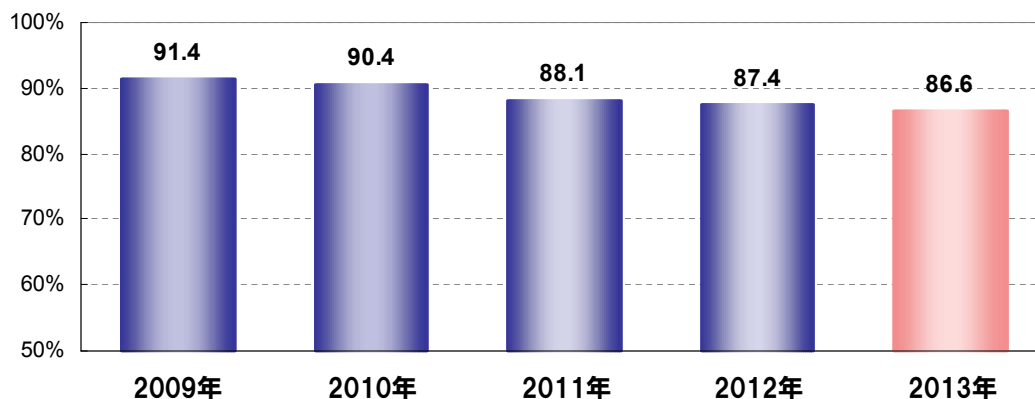
1. クレジットカード保有率

クレジットカードの保有率は、2009年から減少傾向。

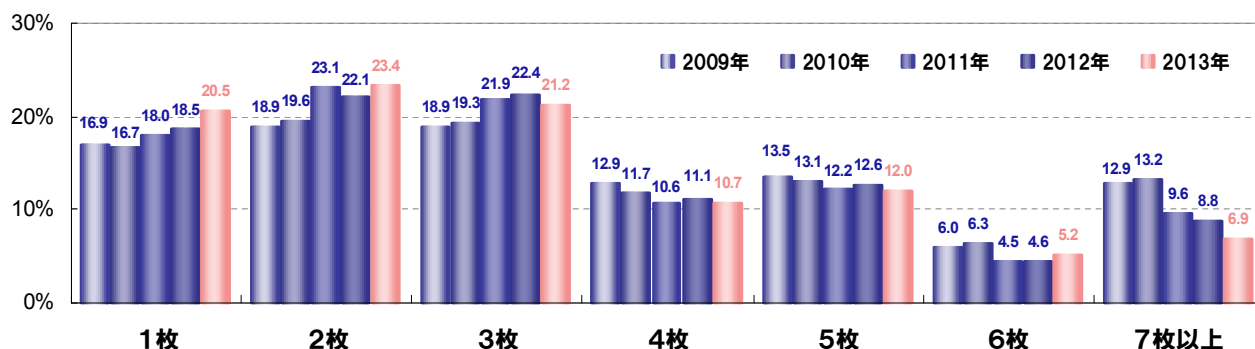
- ・クレジットカード保有率は、2009年から減少傾向にある。2011年で90%を下回り、2013年は86.6%であった。
- ・保有枚数は、「1枚」が20.5%となり、「2枚」「3枚」も2011年、2012年と同様に20%を超え、「3枚以下」が全体の65%を占める。

■ クレジットカード保有率【経年】(N=3500)

※無効回答を除く



クレジットカード保有枚数【経年】(クレジットカード保有者のみで集計)

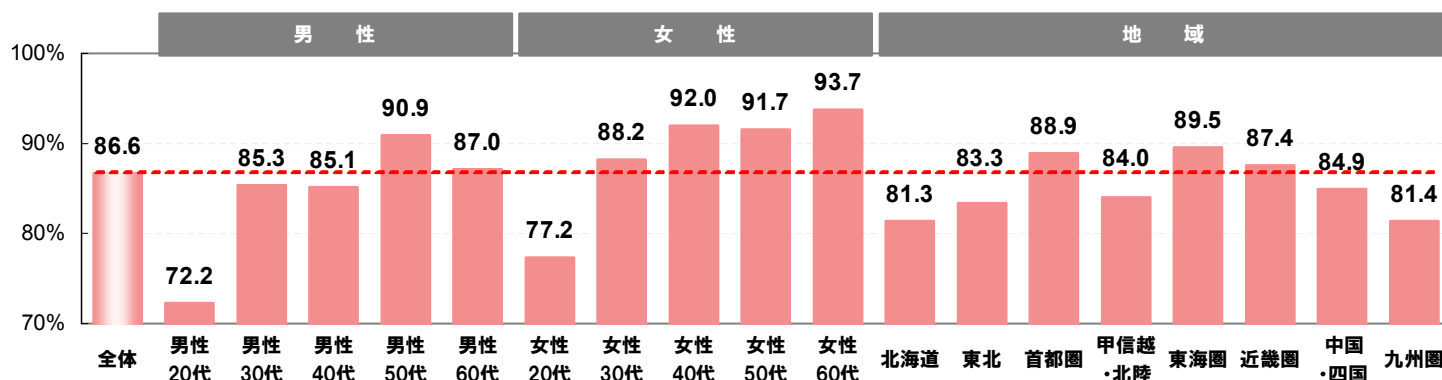


20代のクレジットカード保有率は低い。女性の保有率は男性より高め。

- ・クレジットカードの保有率を年代別に見ると、全体86.6%に比べ、20代は男性72.2%、女性77.2%といずれも低い。
- ・男女別では、すべての年代で女性の保有率は男性を上回る。地域別では、東海圏の保有率が89.5%と最も高い。

■ クレジットカード保有率【属性別】(N=3500)

2013年

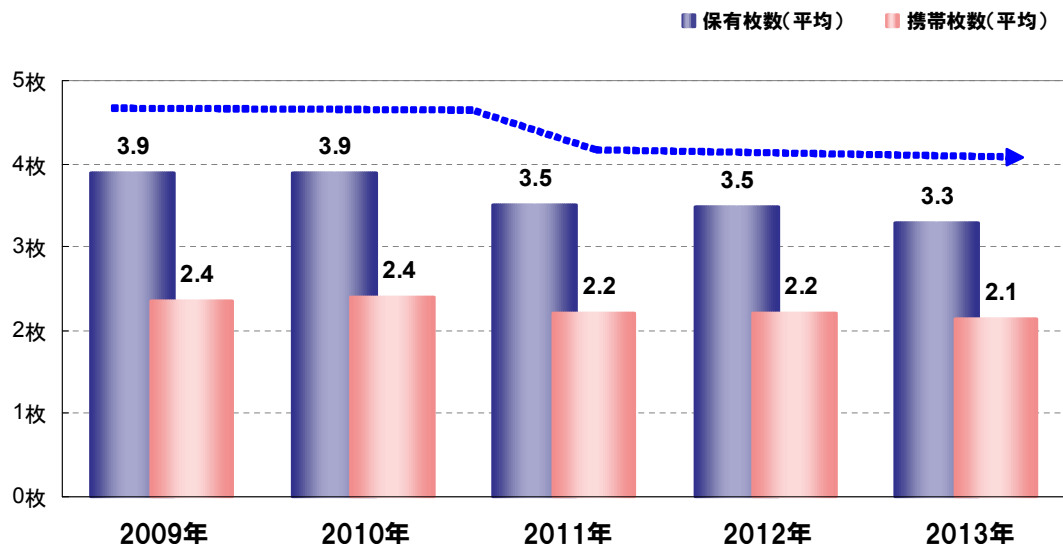


2. クレジットカード保有・携帯枚数

平均保有枚数は3.3枚、平均携帯枚数は2.1枚。ともに昨年から微減。

- 平均保有枚数は3.3枚と、2012年からわずかに減少。
- 同様に、携帯枚数(持ち歩いているクレジットカードの枚数)も平均2.1枚で、2012年からわずかに減少。

■ クレジットカード平均保有枚数 / 携帯枚数 (N=3030:クレジットカード保有者) 【2013年】

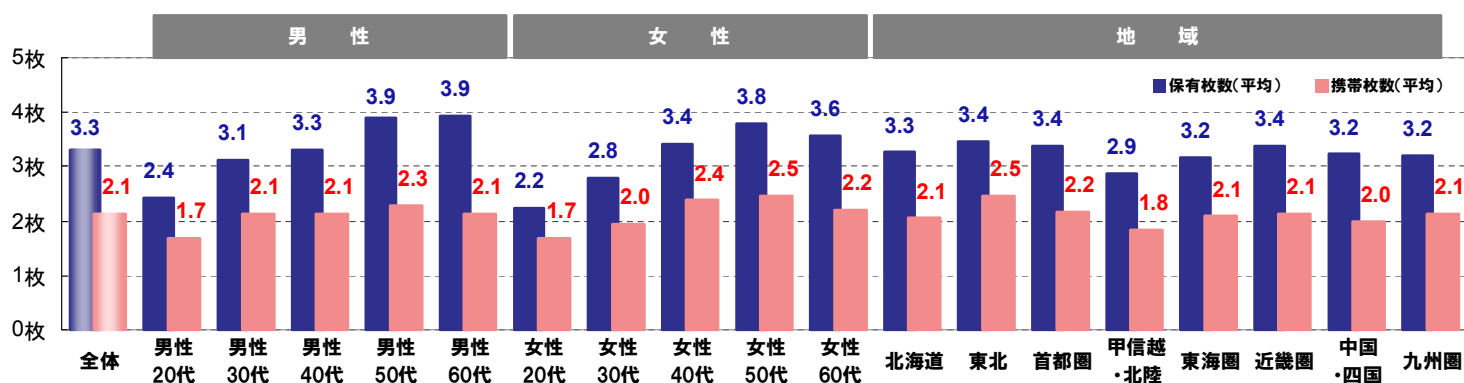


平均保有枚数、平均携帯枚数ともに50代で高い。

- 女性より男性の保有枚数が多く、年代別では50代が多い。男性40代以上の平均保有枚数は4枚以上と高い。一方で男女20代、女性30代は3枚に満たない。地域別では、甲信越・北陸が3枚に満たない。
- 平均携帯枚数も、年代別では50代が多い。20代は2枚に満たず、男女共に1.7枚であった。

■ クレジットカード平均保有枚数 / 携帯枚数【属性別】

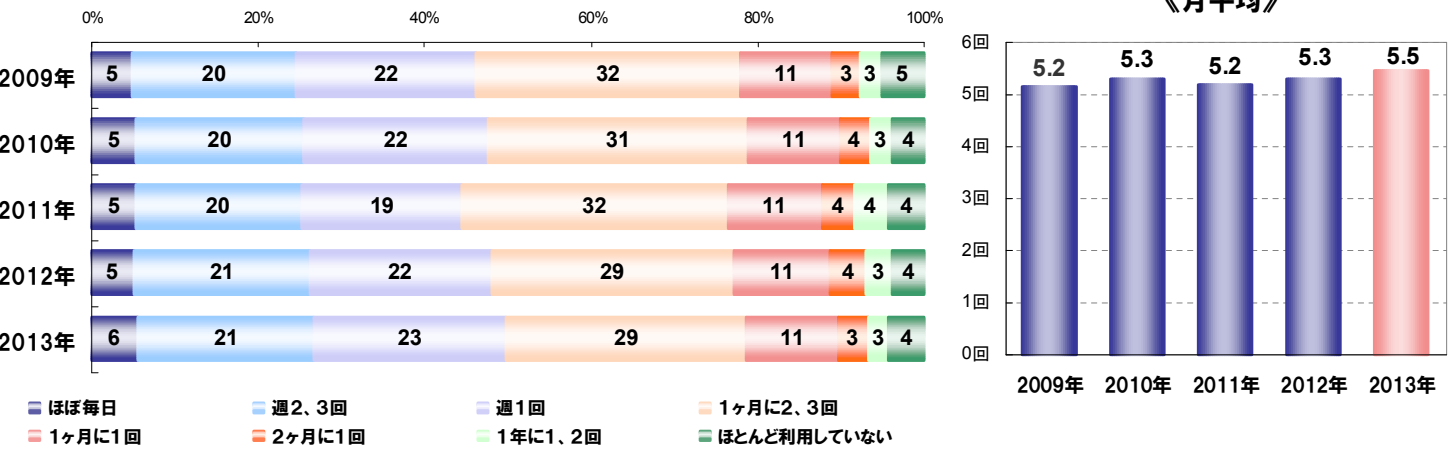
2013年



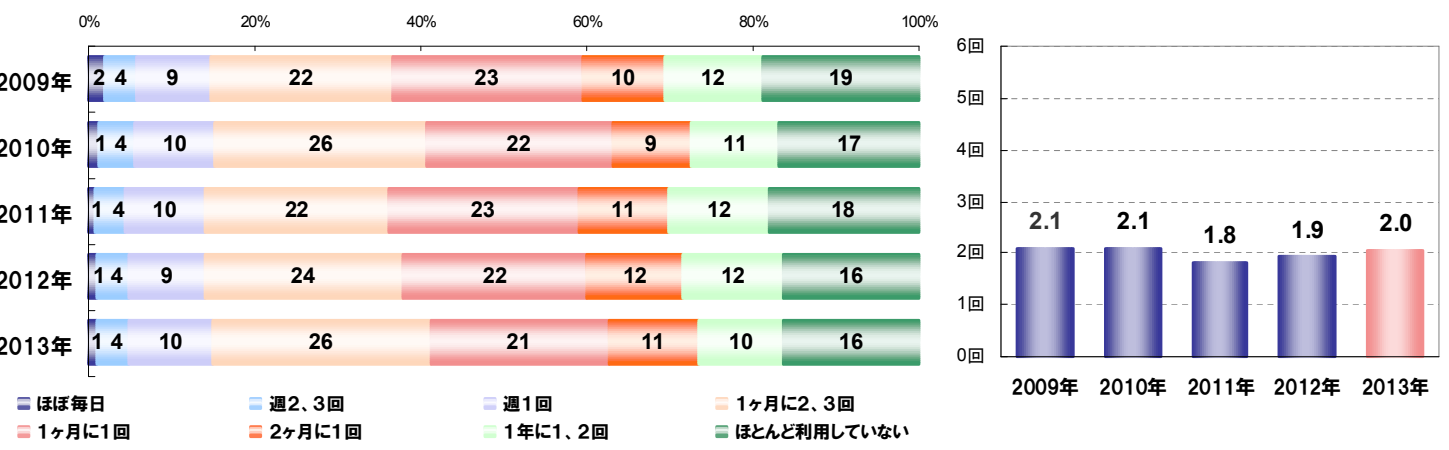
3. クレジットカード利用頻度

「1番多く使う」クレジットカードの月平均利用頻度は5.5回。1、2番目ともに昨年から微増。

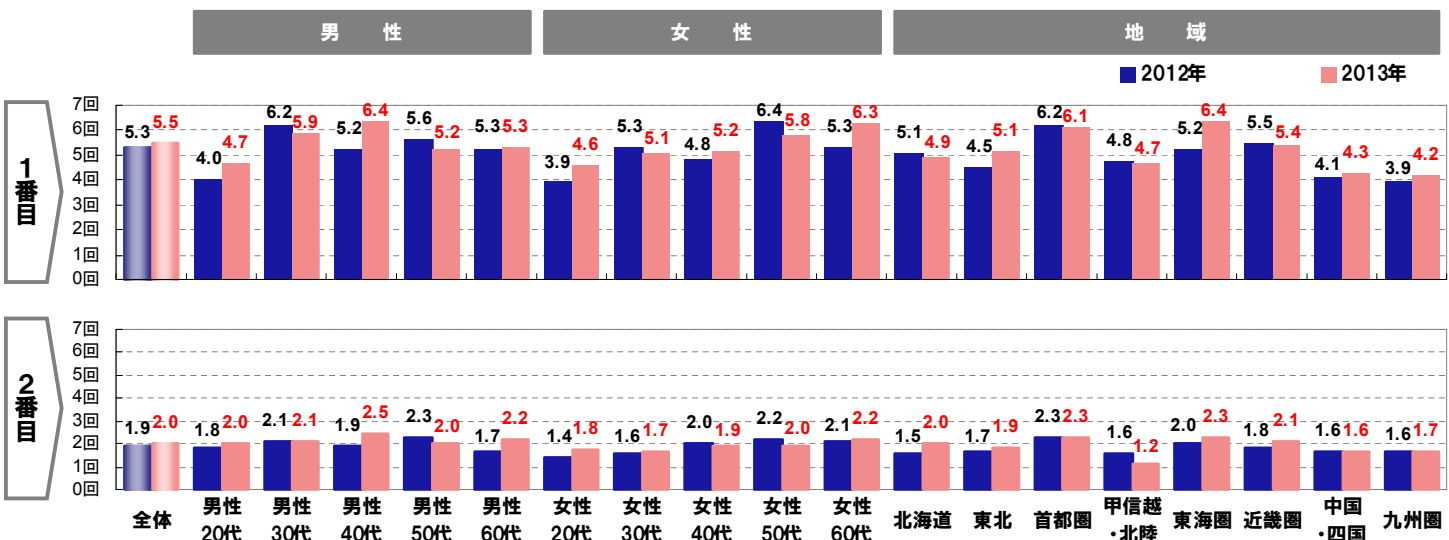
【1番多く使うカード(N=3030)】



【2番目に多く使うカード(N=2409)】



■ 1番・2番目に多く使うカードの属性別 平均利用頻度／月



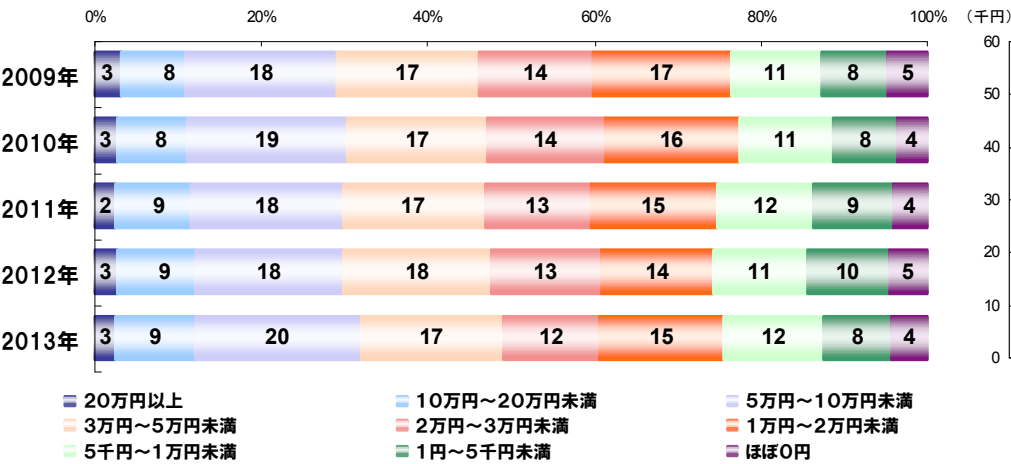
※利用頻度の定義: 本報告書における利用頻度は、下記の選択肢に対して、具体的な利用頻度を定義し、その平均値を算出したものである

選択肢	ほぼ毎日	週2、3回	週1回	1ヶ月に2、3回	1ヶ月に1回	2ヶ月に1回	1年に1、2回	ほとんど利用していない
定義	週に5.5日	週に2.5日	週に1日	月に2.5日	月に1日	2ヶ月に1日	1年に2日	使用していない
年間利用回数推定	286回	130回	52回	30回	12回	6回	2回	0回

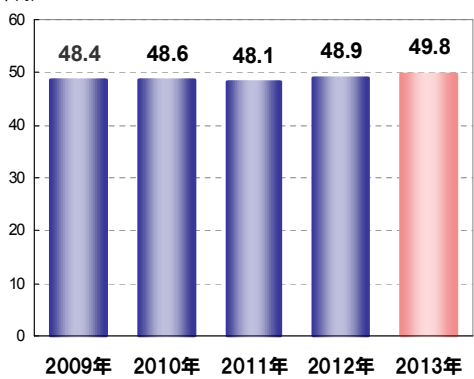
4. クレジットカード利用金額

「1番多く使う」クレジットカードの月平均利用金額は5万円。1、2番目ともに昨年から微増。

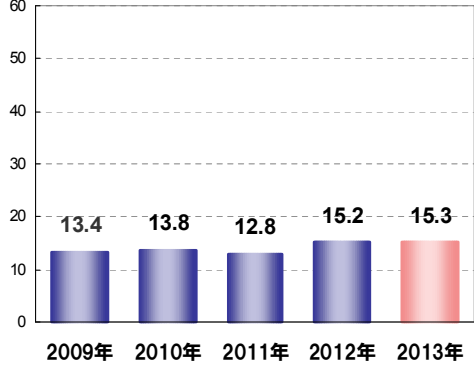
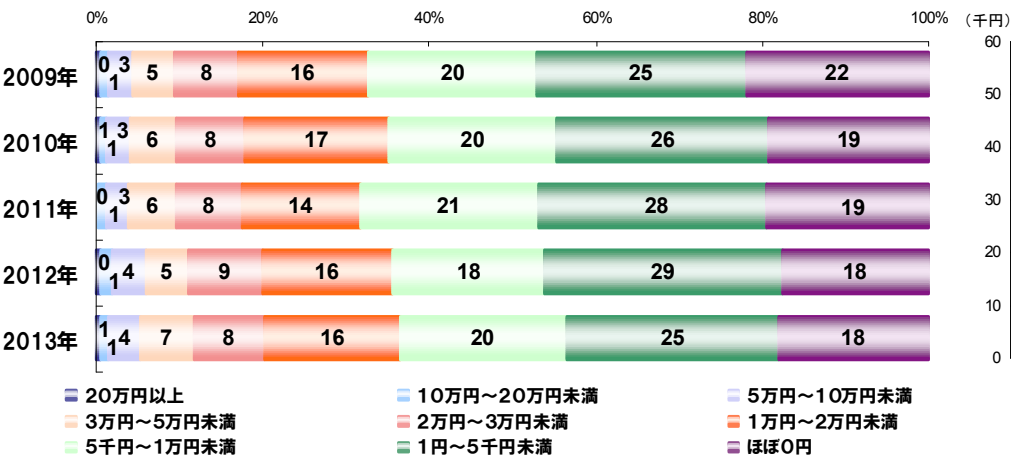
【1番多く使うカード(N=3030)】



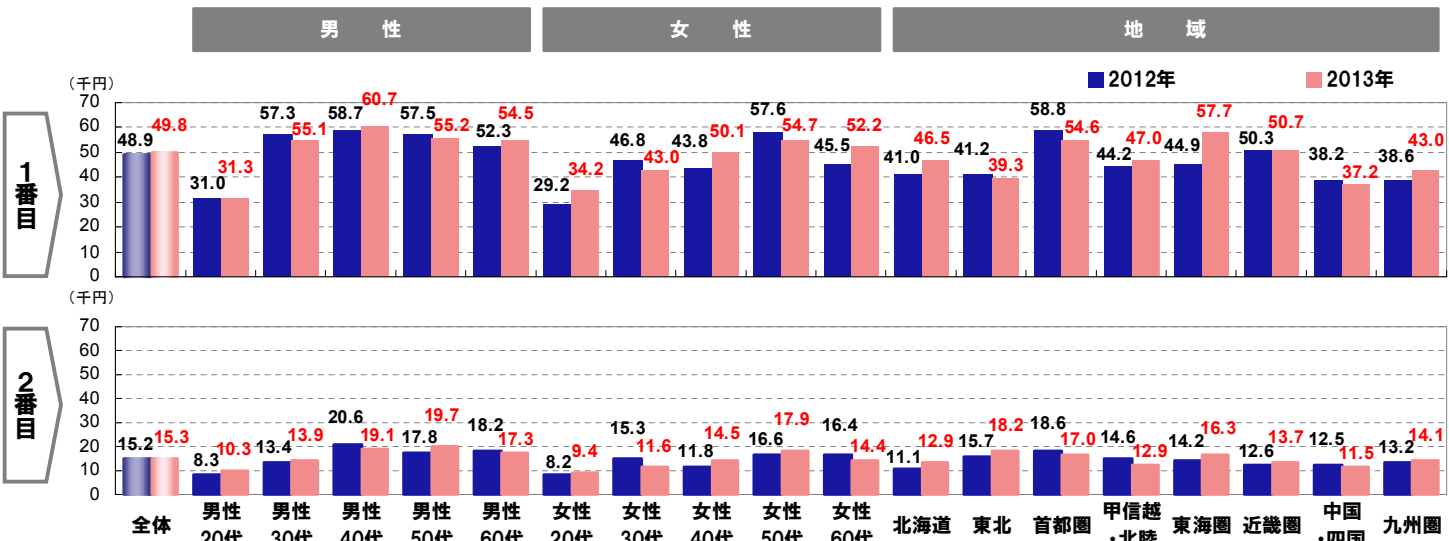
《月平均》



【2番目に多く使うカード(N=2409)】



■ 1番・2番目に多く使うカードの属性別 平均利用金額(千円)／月



※利用金額の定義: 本報告書における利用金額は、下記の選択肢に対して、具体的な利用金額を定義し、その平均値を算出したものである

選択肢	20万円以上	10万円～20万円未満	5万円～10万円未満	3万円～5万円未満	2万円～3万円未満	1万円～2万円未満	5千円～1万円未満	5千円未満	ほぼ0円
年間利用金額推定	300,000円	150,000円	75,000円	40,000円	25,000円	15,000円	7,500円	2,500円	0円

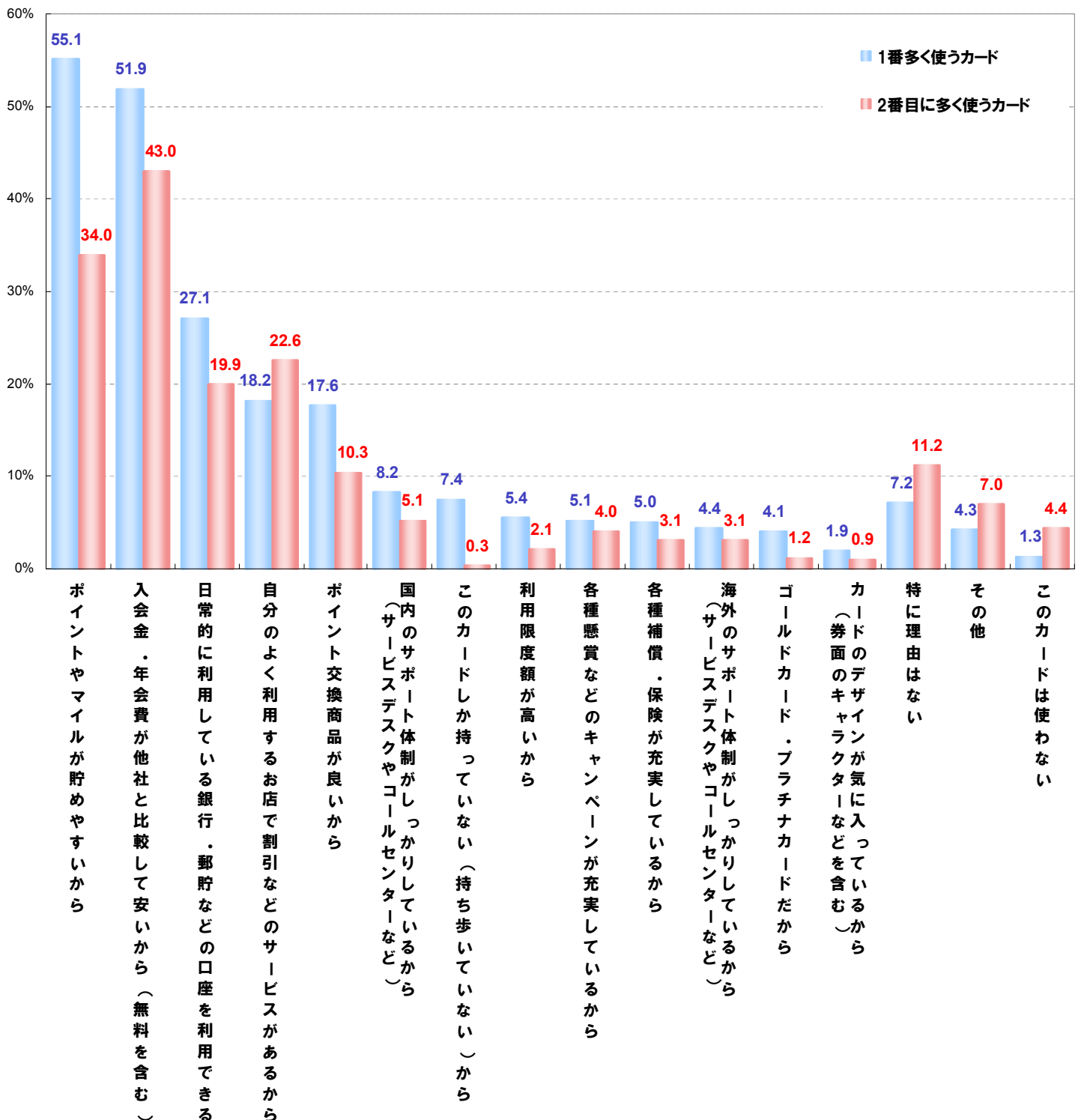
なお、後述する世帯における利用金額は、選択肢ではなく数値回答であるため、そのまま平均値を算出した

5. 保有クレジットカードごとの利用理由

1番多く使うクレジットカードの主な利用理由は、
「ポイントやマイルが貯めやすいから」、「入会費・年会費が他社と比較して安いから」。

- 1番多く使うクレジットカードの利用理由としては「ポイントやマイルが貯めやすいから(55.1%)」が最も高い。次いで「入会金・年会費が他社と比較して安いから(無料含む)(51.9%)」、「日常的に利用している銀行・郵貯などの口座を利用できる(27.1%)」が続く。
- 2番目に多く使うカードでは「入会費・年会費が他社と比較して安いから(無料含む)(43.0%)」が最も高く、「ポイントやマイルが貯めやすいから(34.0%)」が次いで高い。

■ クレジットカード発行会社の利用理由

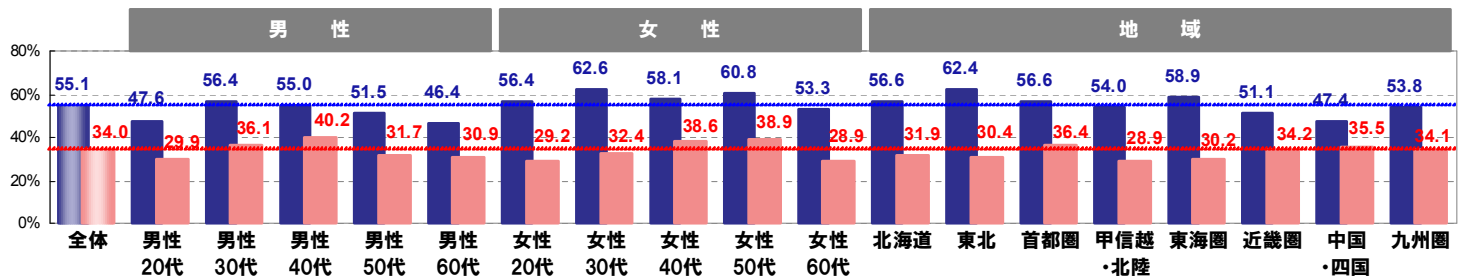


女性の30代、50代で「ポイントやマイルが貯めやすいから」と回答した割合が高く、1番多く使うカードで6割を超える。

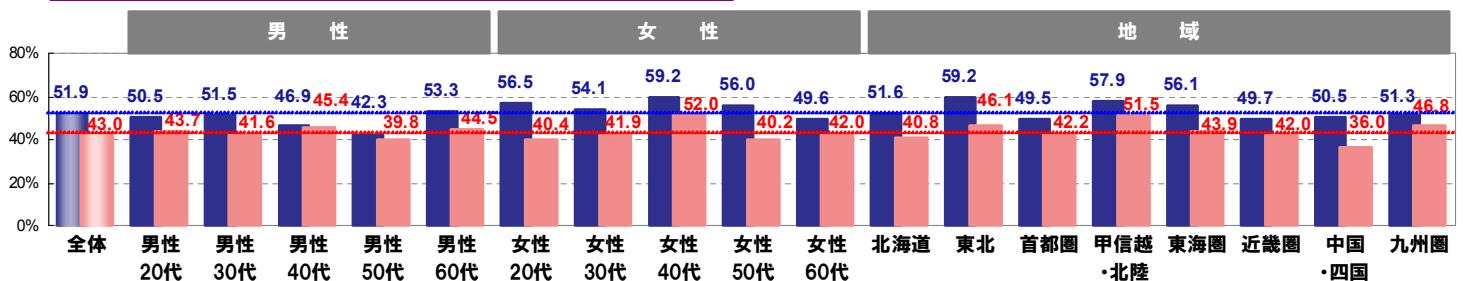
■ クレジットカード発行会社の利用理由【属性別】 上位5項目

ポイントやマイルが貯めやすいから

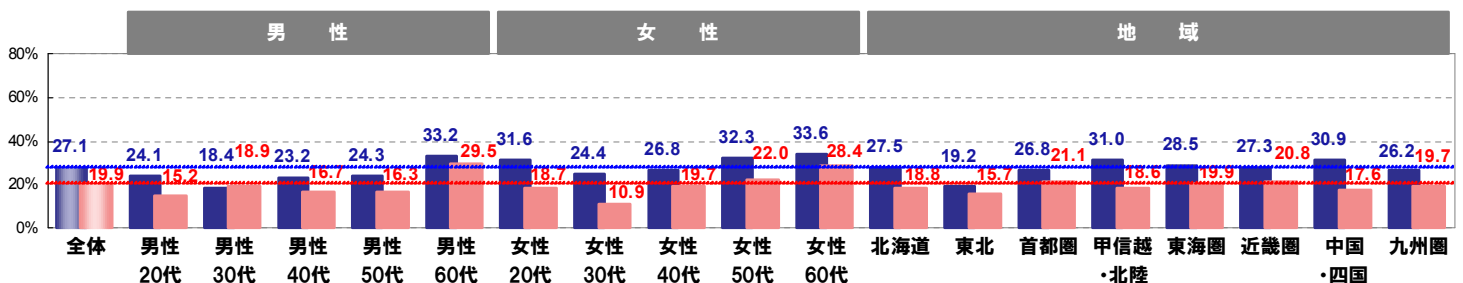
■ 1番多く使うカード
■ 2番目に多く使うカード



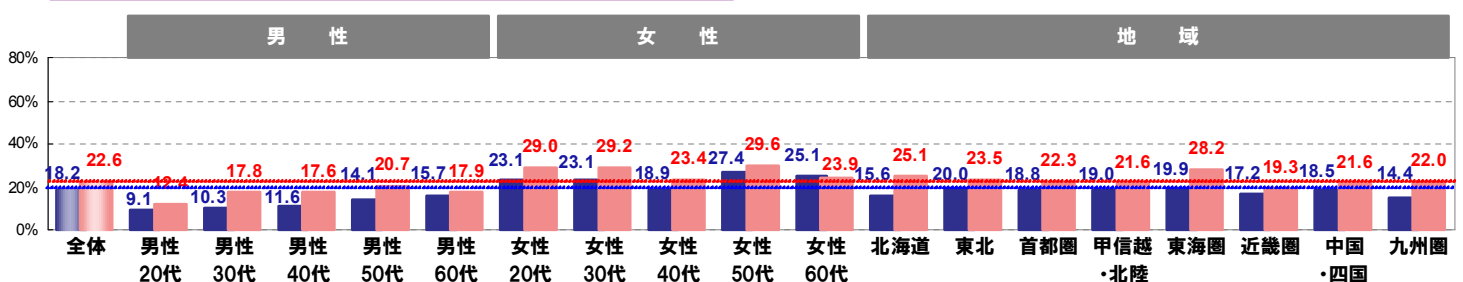
入会金・年会費が他社と比較して安いから(無料を含む)



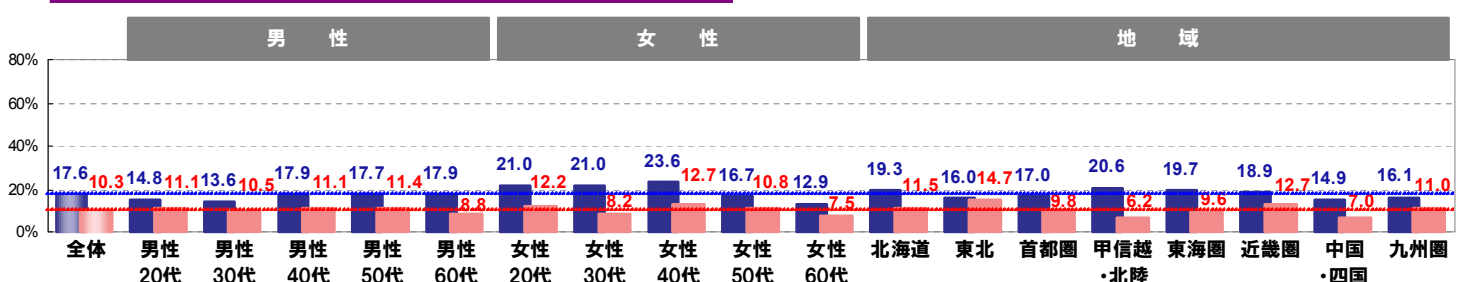
日常的に利用している銀行・郵貯などの口座を利用できる



自分のよく利用するお店で割引などのサービスがあるから



ポイント交換商品が良いから

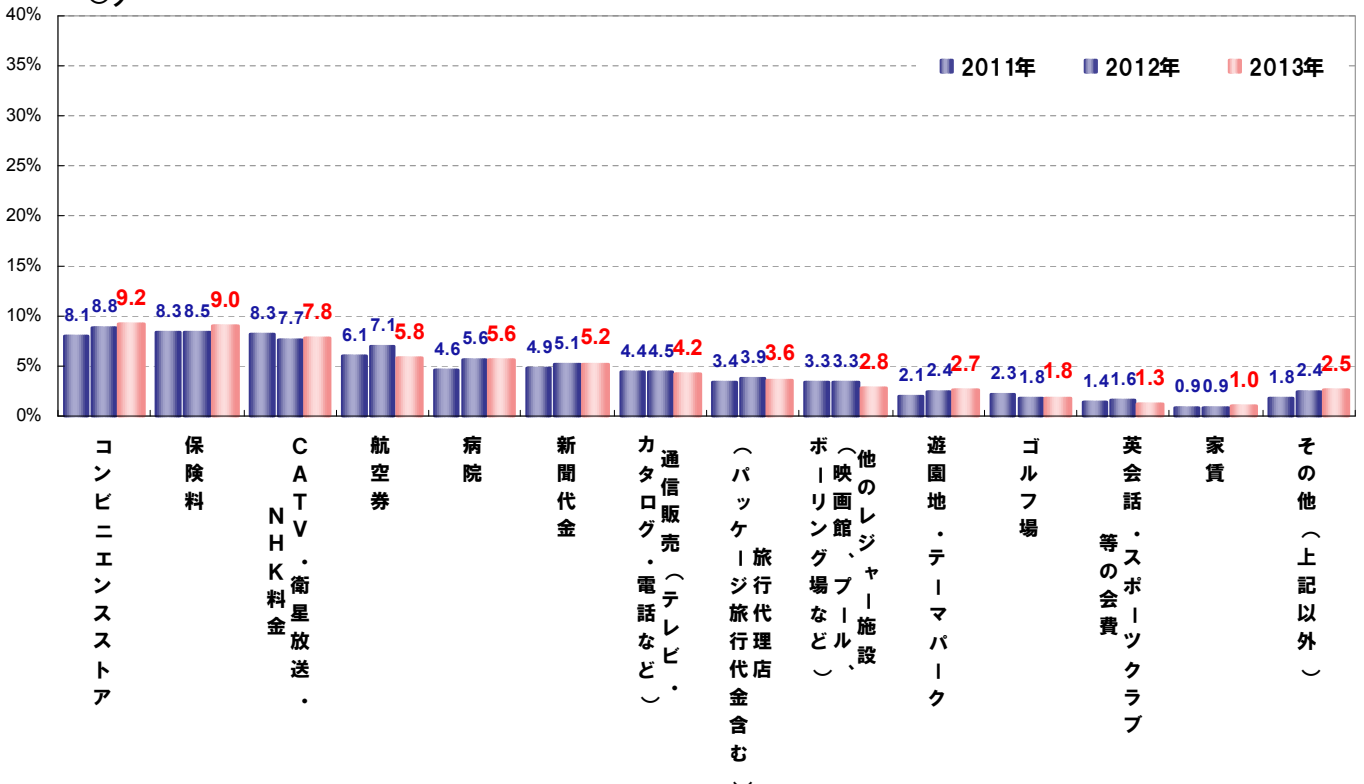
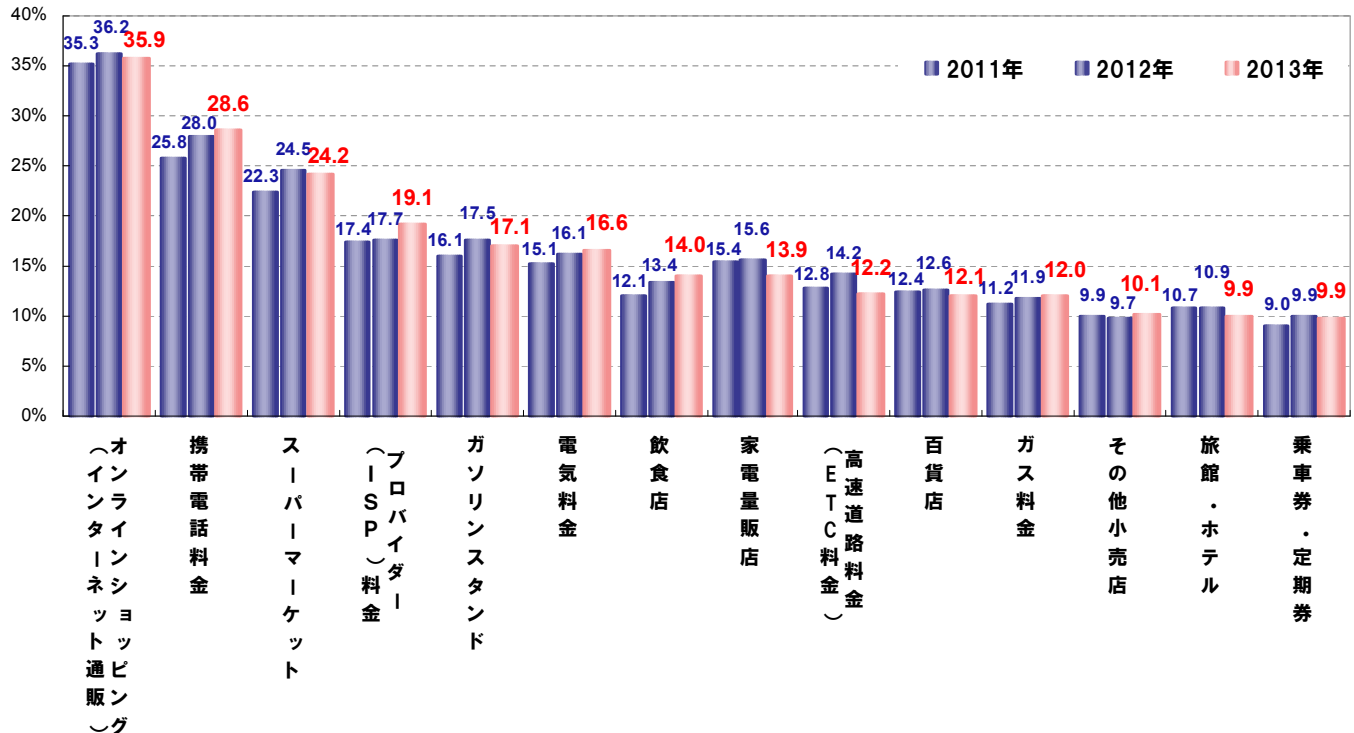


6. クレジットカード利用業種

カード利用が最も高い業種は「オンラインショッピング(インターネット通販)」。
公共料金など、毎月発生する支払いでの利用が増加している。

- ・クレジットカードを利用している業種は、「オンラインショッピング(インターネット通販)」が35.9%で最も高い。次いで「携帯電話料金(28.6%)」、「スーパーマーケット(24.2%)」が20%を超えて続く。
- ・「携帯電話」、「ガス料金」、「電気料金」といった公共料金や「プロバイダー」等の、毎月発生する支払いでのカード利用が増加。
- ・「家電量販店」、「高速道路料金」での利用は昨年と比較して減少している。

■ 過去3ヶ月のクレジットカード利用業種【経年】(N=5439:クレジットカード枚数)



※ここでのクレジットカード利用業種は、クレジットカード枚数(回答者1人あたり複数枚数について回答)をベースとして集計しています。

※2011年度までは、「1番多く使うカード」～「3番目に多く使うカード」までの3枚を調査対象としていましたが、2012年度以降は対象を「1番多く使うカード」～「2番目に多く使うカード」の2枚に変更しています。当報告書においては、2011年度以前のデータは2012年以降の形式に合わせ再集計して掲載しています。

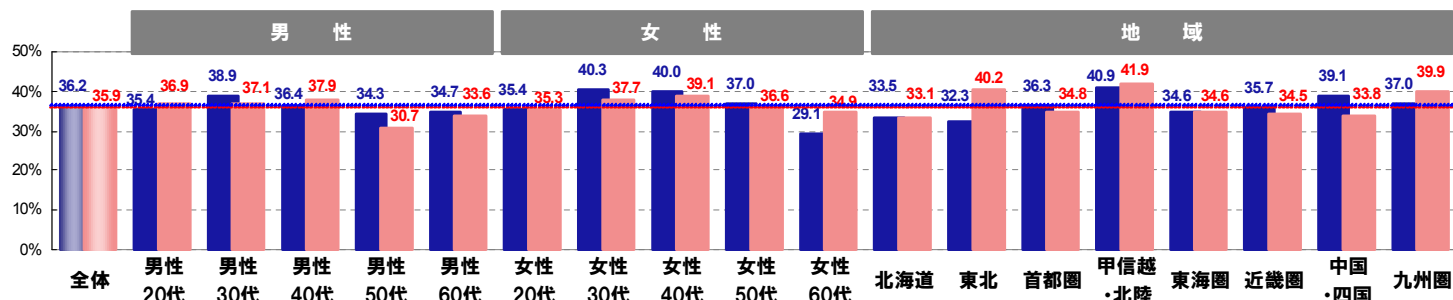
「オンラインショッピング(インターネット通販)」でのカード利用は、女性60代の増加が目立つ。
 「携帯電話料金」は、男性60代と女性40代の利用が増加。
 「スーパーマーケット」では特に男性20代の利用増加が目立つが、女性は30代以外の各年代で低下している。

■ クレジットカード利用業種【属性別】

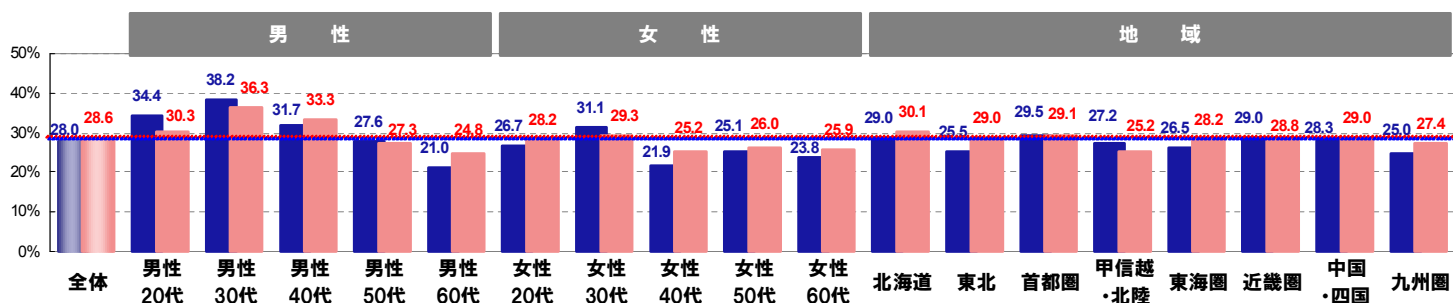
※ここでのクレジットカード利用業種は、全クレジットカード枚数をベースとして集計しています。

オンラインショッピング(インターネット通販)

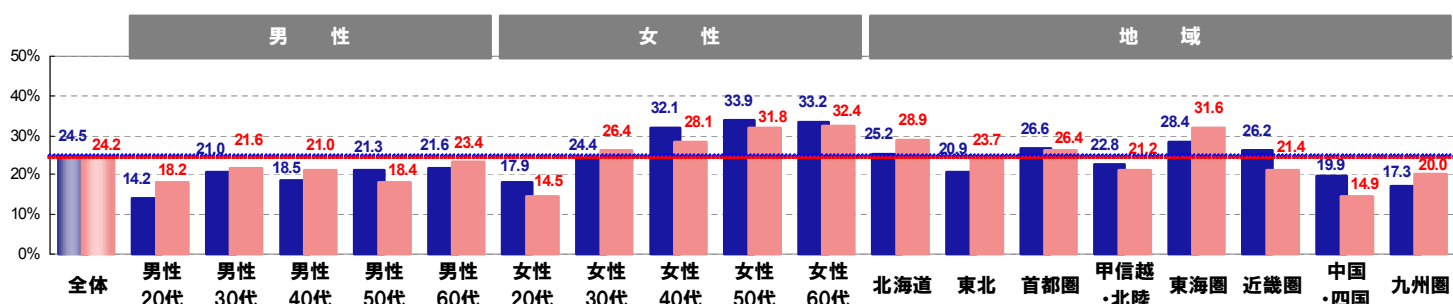
■ 2012年 ■ 2013年



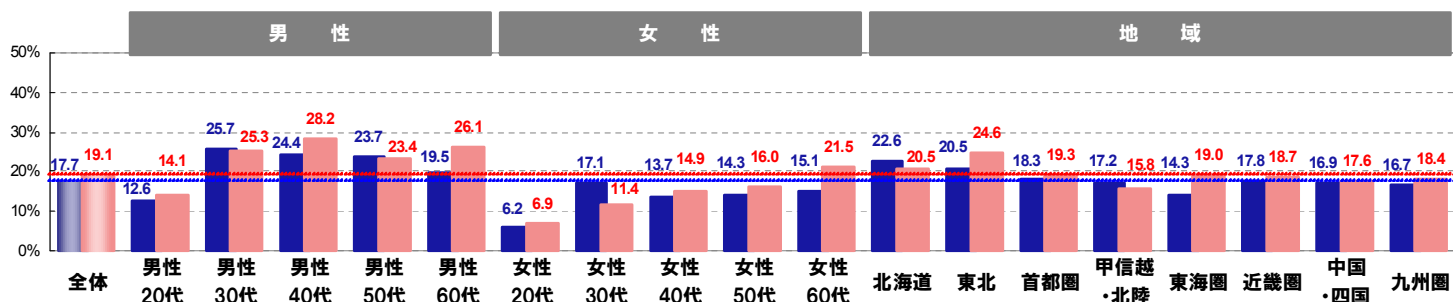
携帯電話料金



スーパーマーケット

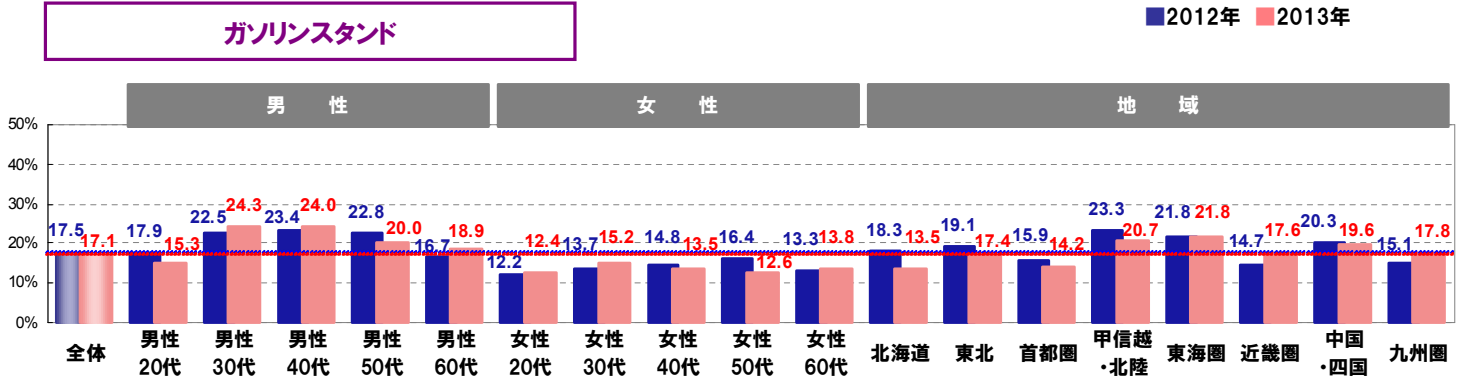


プロバイダー(ISP)料金

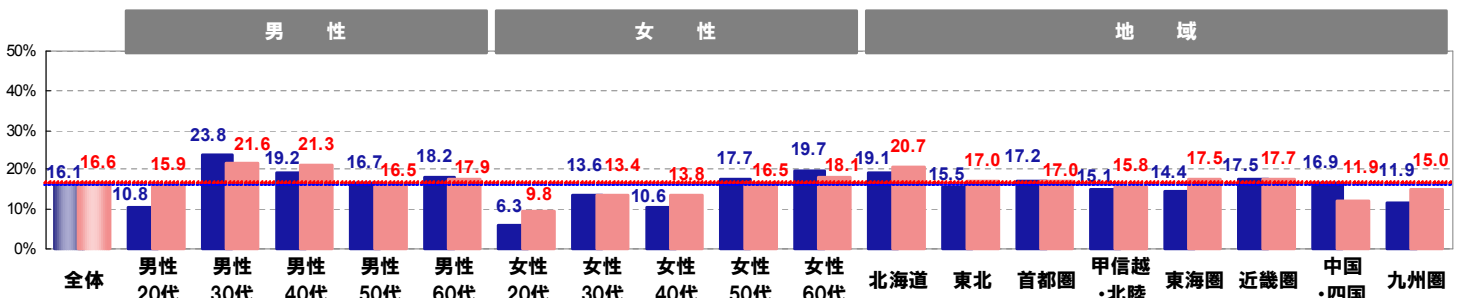


「ガソリンスタンド」では、男性30代、60代、女性30代、近畿圏、九州圏で増加が見られた。
「電気料金」「飲食店」では、男女20代で利用が増加している。

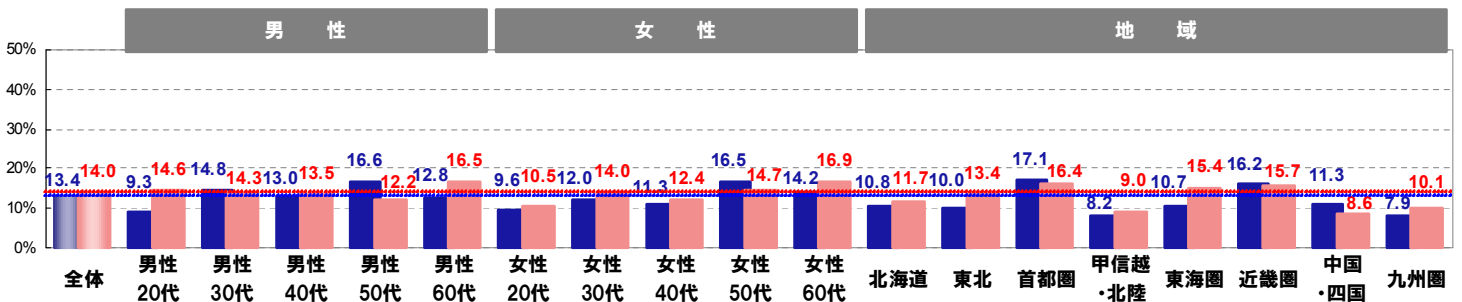
ガソリンスタンド



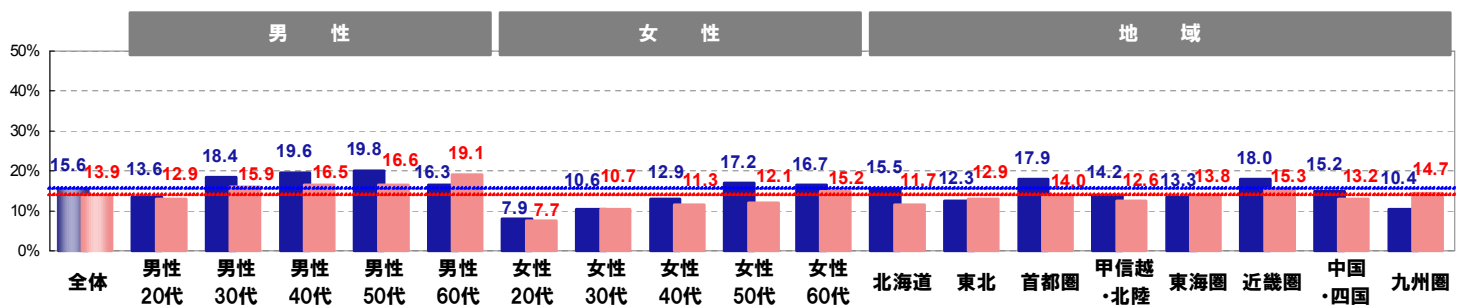
電気料金



飲食店



家電量販店

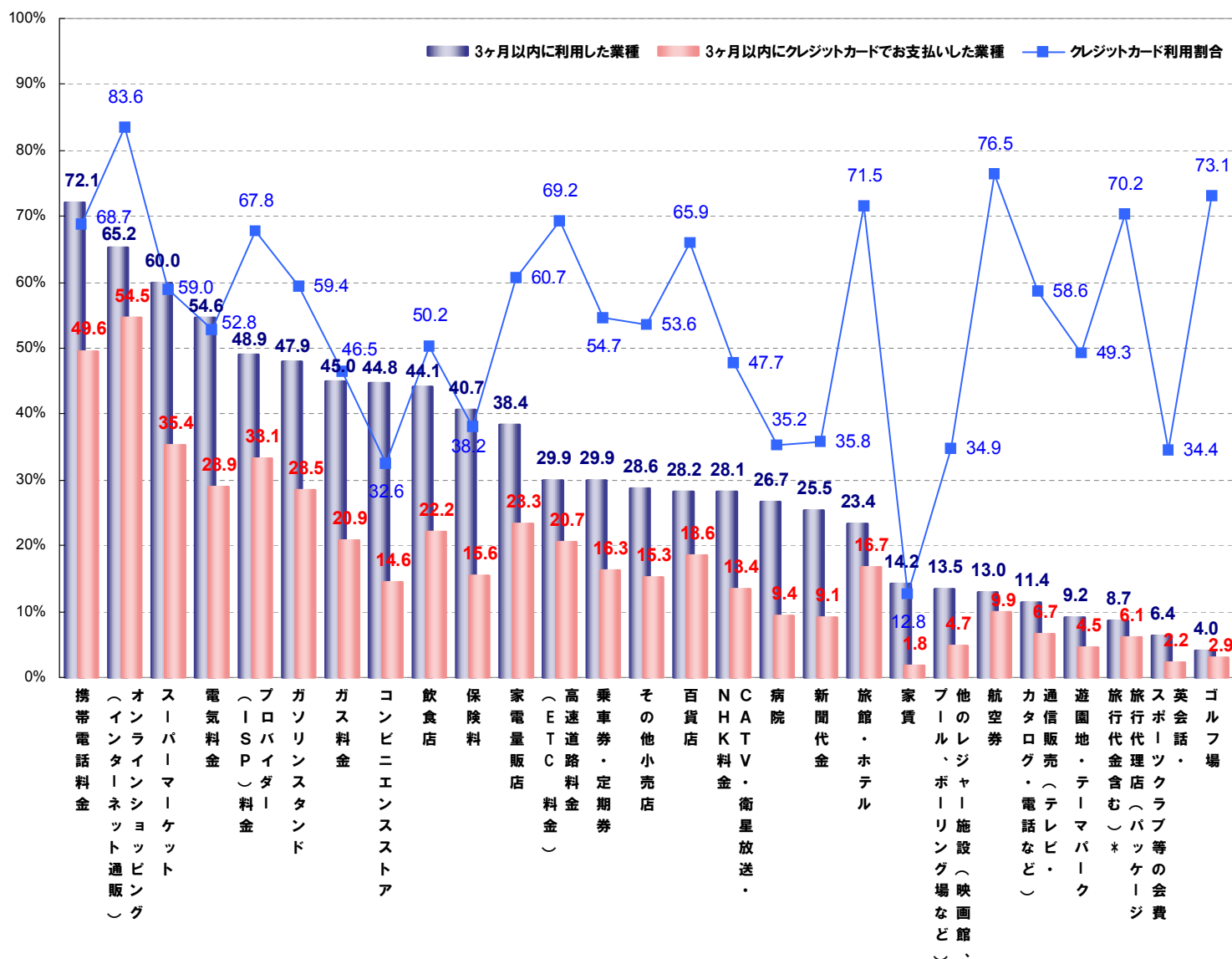


7. 支払いの際のクレジットカード利用割合

クレジットカード保有者の5割以上が「オンラインショッピング(インターネット通販)」をクレジットカードで支払っている。
支払いに占めるクレジットカード利用者の割合も8割を超える。

■ 支払いの際のクレジットカード利用者の割合 (N=3030:クレジットカード保有者)

※ここでの利用業種は、クレジットカード保有者をベースとして集計しているため、
前出の「クレジットカード枚数」をベースとした数値とは異なります。



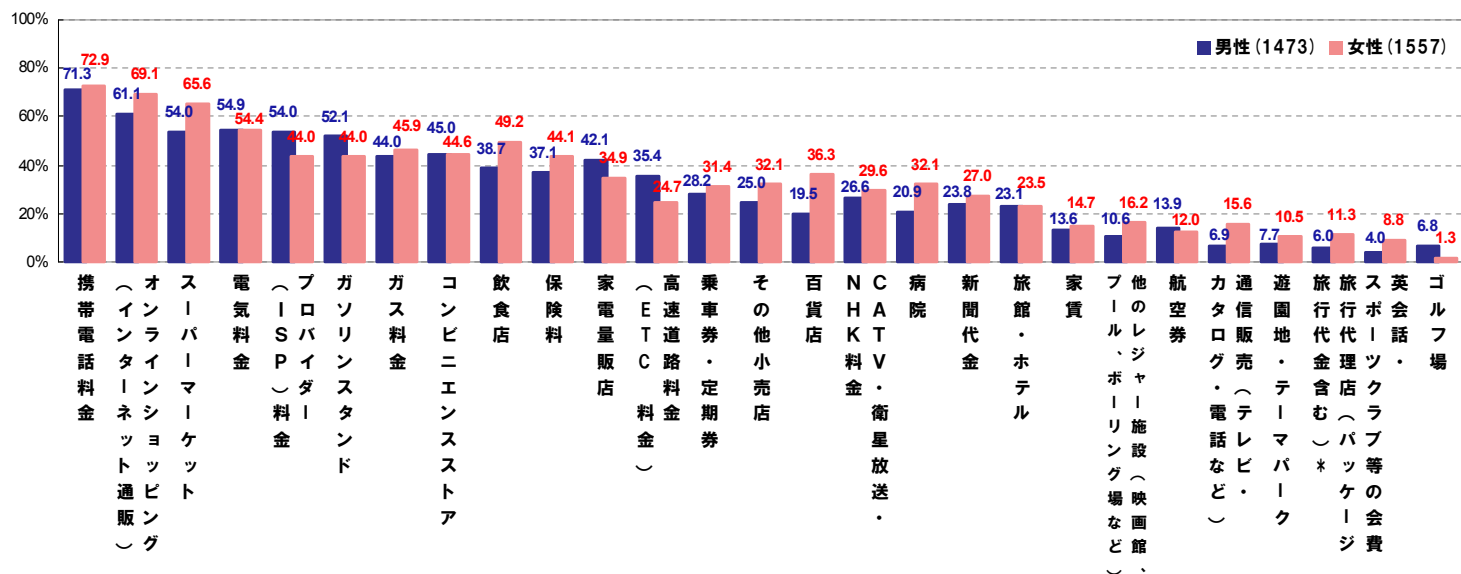
- ・3ヶ月以内に支払いをした業種・・・クレジットカード、現金等を問わず3ヶ月以内に支払いをした業種
- ・3ヶ月以内にクレジットカードで利用した業種・・・3ヶ月以内にクレジットカードで支払いをした業種
- ・クレジットカード利用割合・・・クレジットカード保有者をベースとして、「3ヶ月以内にクレジットカードで利用した」が「3ヶ月以内に支払いをした(クレジットカード、現金等問わず)」の人数に占める割合を%で示したもの。

$$\text{クレジットカード利用割合} = \left[\frac{\text{3ヶ月以内にクレジットカードで利用した業種}}{\text{3ヶ月以内に支払いをした業種}} \right] \times 100\%$$

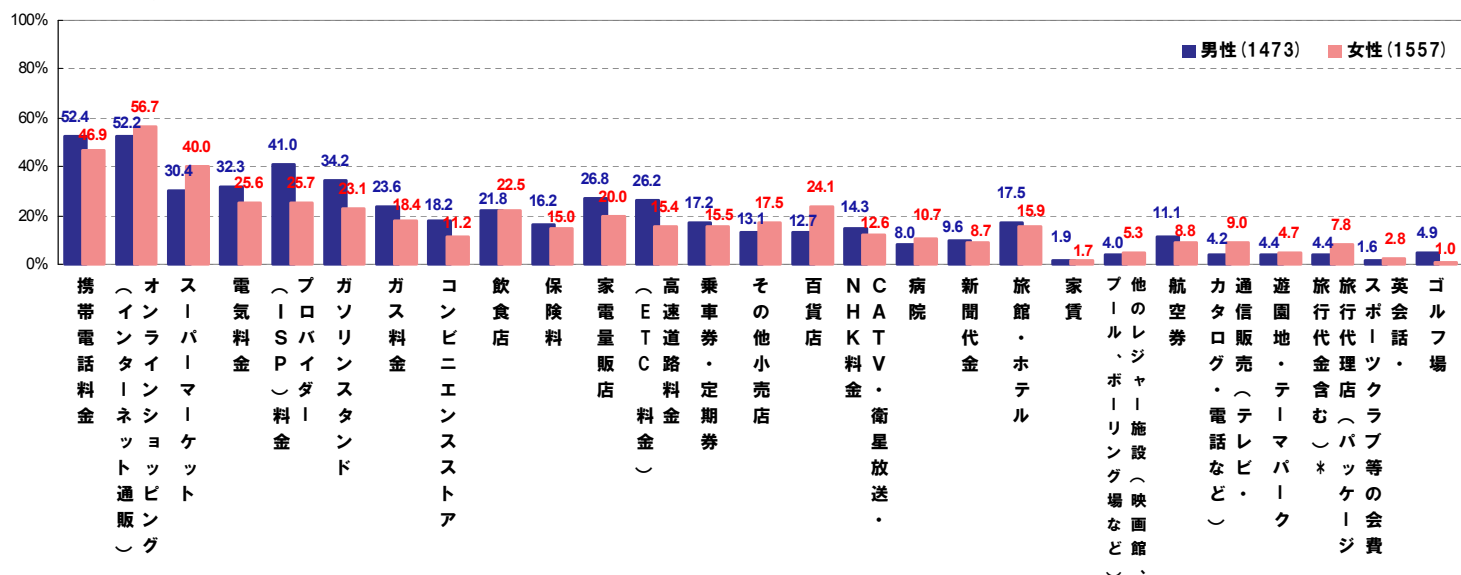
*「旅行代理店(パッケージ旅行代金含む)」は、2011年まで「パッケージ旅行代金」と表記

男女別に見ると、全般に男性のほうが支払いの際にクレジットカードを利用している。
ただし、「スーパーマーケット」などの小売店は、女性が男性を上回る傾向がみられる。

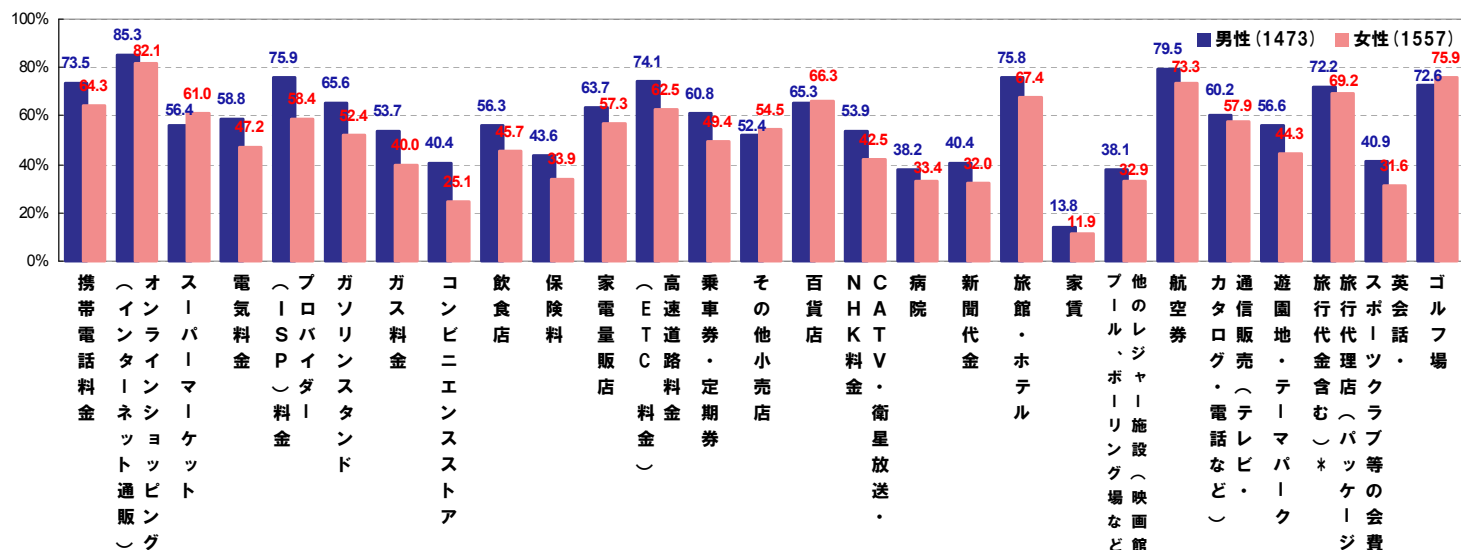
■ 3ヶ月以内に支払いをした業種



■ 3ヶ月以内にクレジットカードで利用した業種



■ クレジットカード利用者の割合



*「旅行代理店(パッケージ旅行代金含む)」は、2011年まで「パッケージ旅行代金」と表記

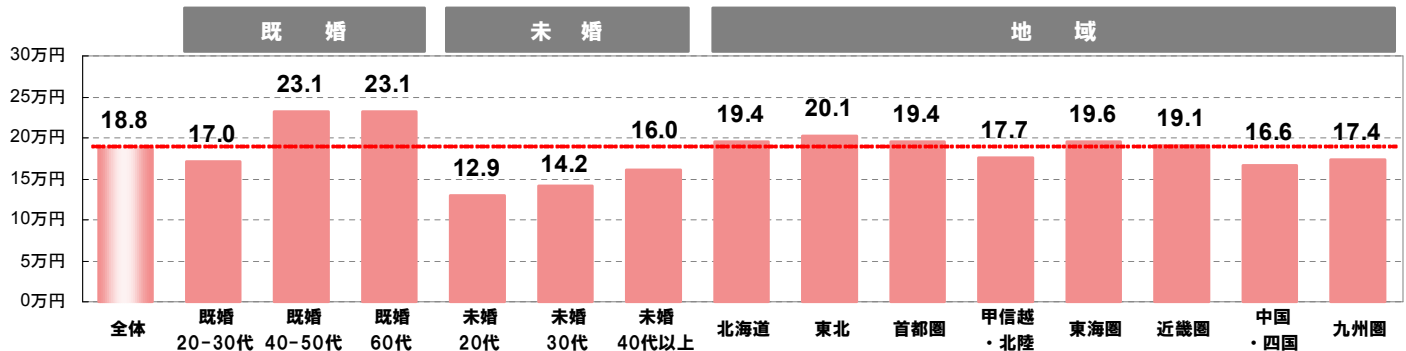
8. 月平均生活費とクレジットカード利用額

世帯あたりの月平均生活費は18.8万円。うち平均5.5万円がクレジットカードで支払われている。

- 世帯あたりの月平均生活費は18.8万円であった。既婚世帯ほど生活費は高く、地域別では中国・四国が最も低い。
- 世帯あたりの月平均クレジットカード利用額は5.5万円。既婚世帯は6万円以上だが、未婚は3-4万円前後と低い。地域別で見ると、東北、中国・四国圏が4.0万円で最も低く、東海圏が6.5万円で最も高い。

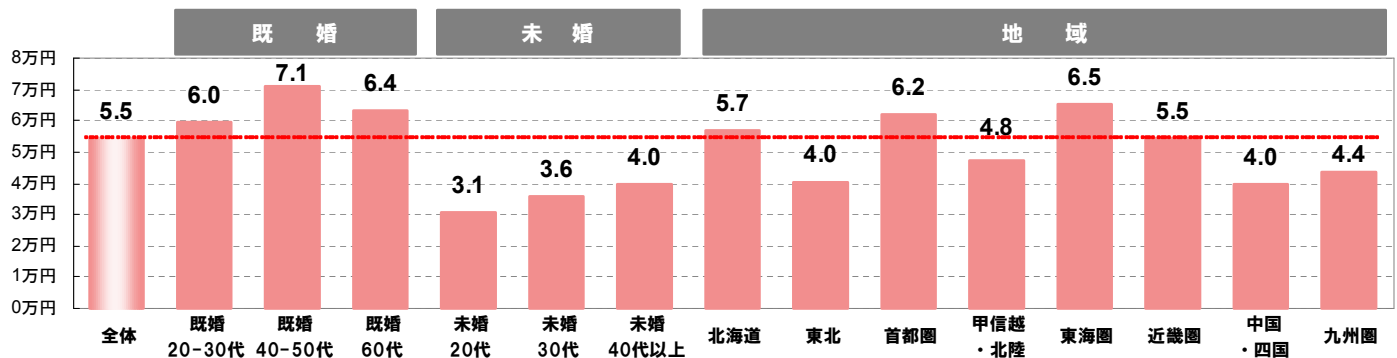
■ 世帯あたり月平均生活費【属性別】(N=3500)

2013年



■ 世帯あたり月平均クレジットカード利用額【属性別】(N=3500)

2013年

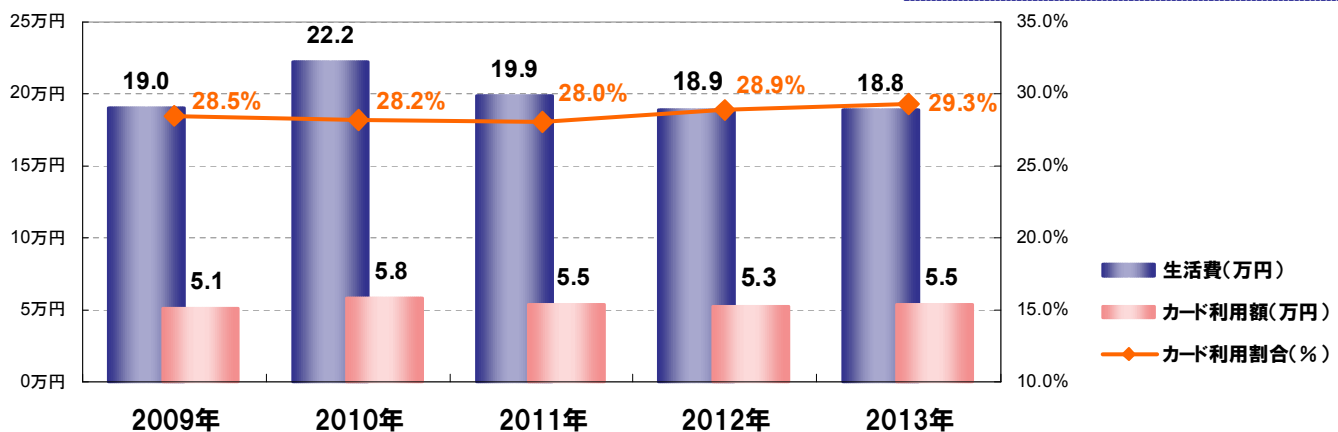


**月平均生活費は2010年から減少傾向。クレジットカード利用額は2012年より微増。
クレジットカード利用割合は2011年から上昇傾向。**

- 世帯あたりの月平均生活費は、2013年は18.8万円と昨年比1千円の減少。月平均クレジットカード利用額は昨年比2千円増の5.5万円となった。クレジットカード利用額が増加した為、生活費に占めるクレジットカードの利用割合は、2013年は29.3%で2012年から上昇している。

■ 世帯あたり月平均生活費 / カード利用額 (N=3500)【経年】

※カード利用割合(%)は、世帯あたりの月平均生活費に占めるカード利用額の割合である。回答者個別のカード利用割合を算出し、その平均値を採用した

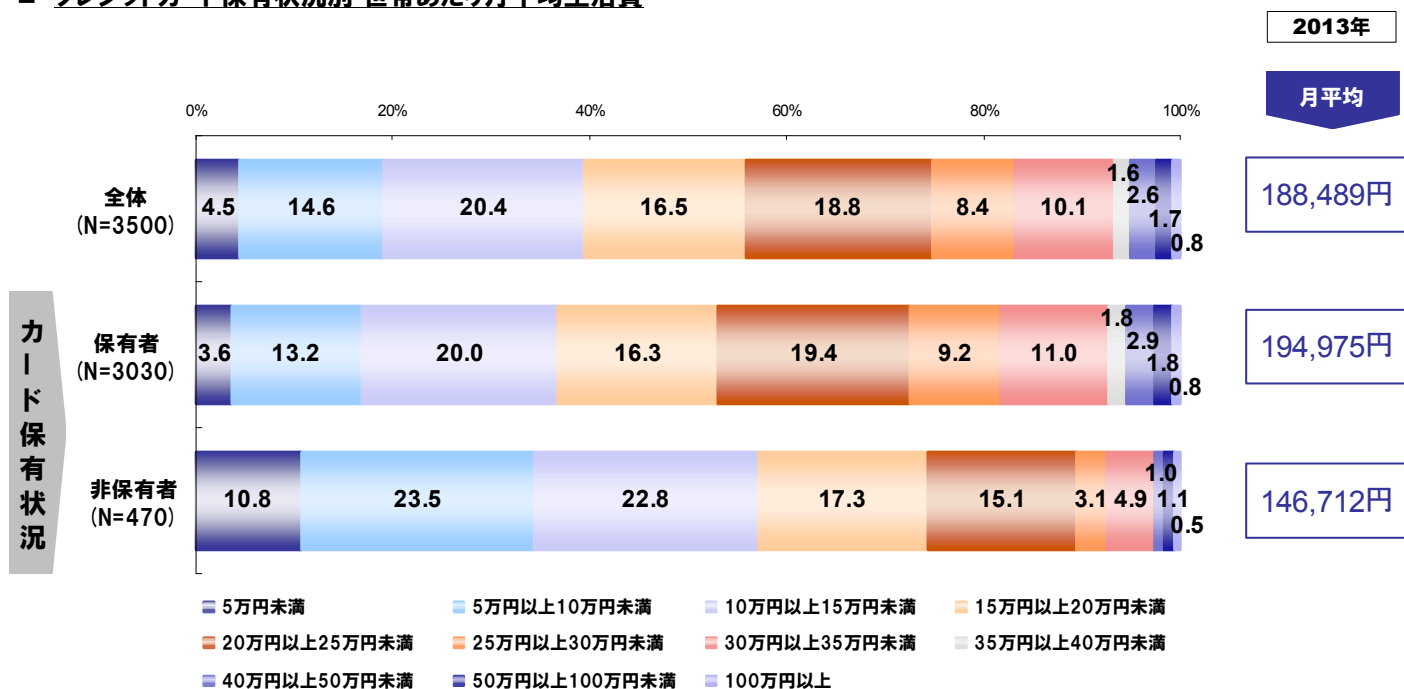


9. 月平均生活費とクレジットカードの保有状況

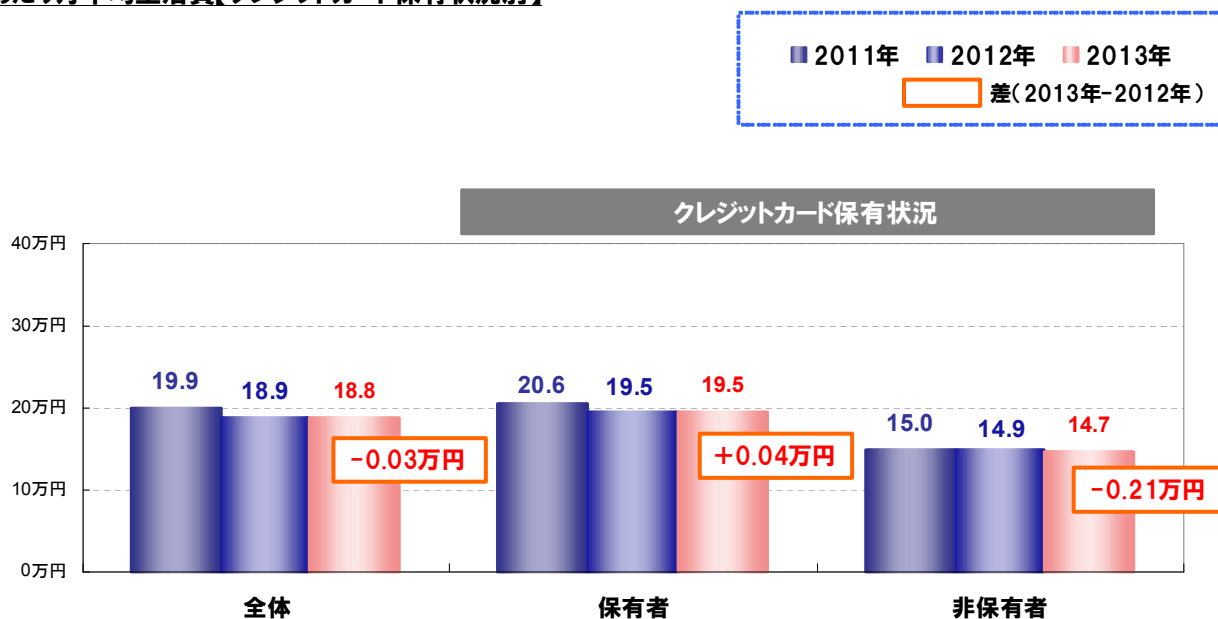
クレジットカード保有者の月平均生活費は19.5万円、非保有者の月平均生活費は14.7万円。

- クレジットカードの保有・非保有別に見た月平均生活費では、保有者が月平均19.5万円であるのに対し、非保有者は14.7万円となり、カード保有者が非保有者を4.8万円、上回る。クレジットカードの保有状況と、世帯あたりの月平均生活費には、相関関係があると考えられる。
- クレジットカード非保有者の月平均生活費は昨年と比べて減少している。

■ クレジットカード保有状況別 世帯あたり月平均生活費



■ 世帯あたり月平均生活費【クレジットカード保有状況別】

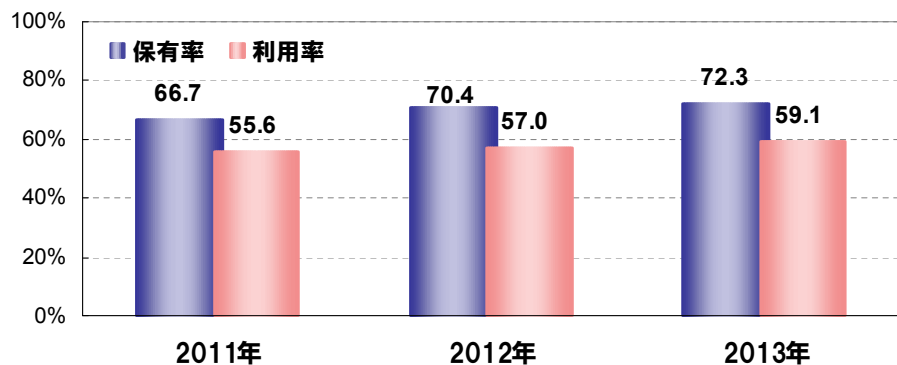


10. 電子マネーの利用状況

電子マネーは保有率、利用率ともに上昇傾向。特に女性60代では2012年より保有者、利用者が増加。
「鉄道・地下鉄・バス」での利用が最も多い。

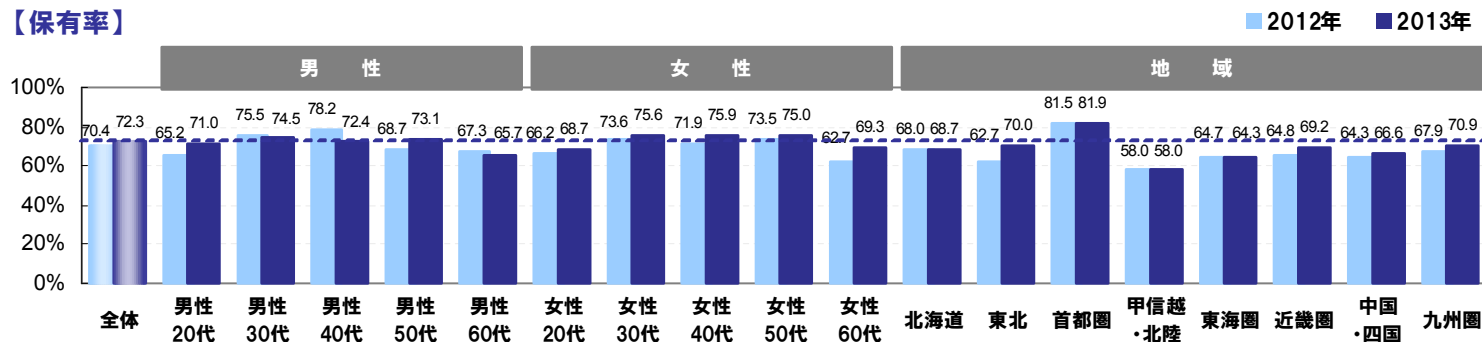
- 電子マネーの保有率(72.3%)、利用率(59.1%)ともに、2011年から増加してきている。特に女性60代は昨年と比較すると保有・利用ともに上昇が目立つ。エリア別では首都圏の保有・利用が高い。
- 電子マネーを利用している業種は、「鉄道・地下鉄・バス」が31.6%で最も高い。次いで「コンビニエンスストア(30.4%)」が30%を超え、続く。

■ 電子マネー保有率／利用率 (N=3500)

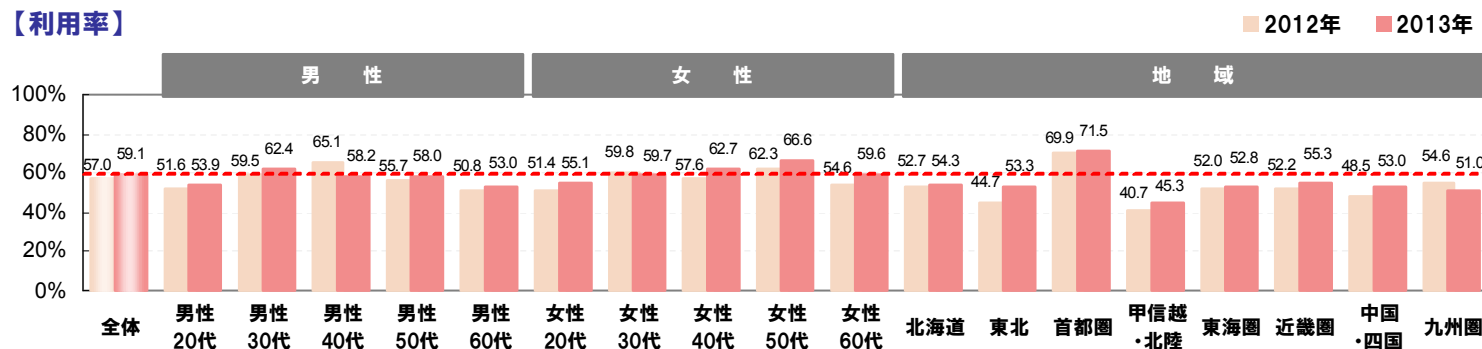


※本調査で電子マネーは「楽天Edy(エディ)」、「Suica・ICOCA・Kitaca・TOICA・SUGOCA・PASMO・manaca・nimoca・はやかけん」などの交通系電子マネー、「PiTaPa(ピタパ)」、「nanaco(ナナコ)」、「WAON(ワオン)」、「iD(アイディー)」※DCMXmini含む、「QUICPay(クイックペイ)」、「その他電子マネー」の保有・利用状況から電子マネー全体の保有・利用率を算出した

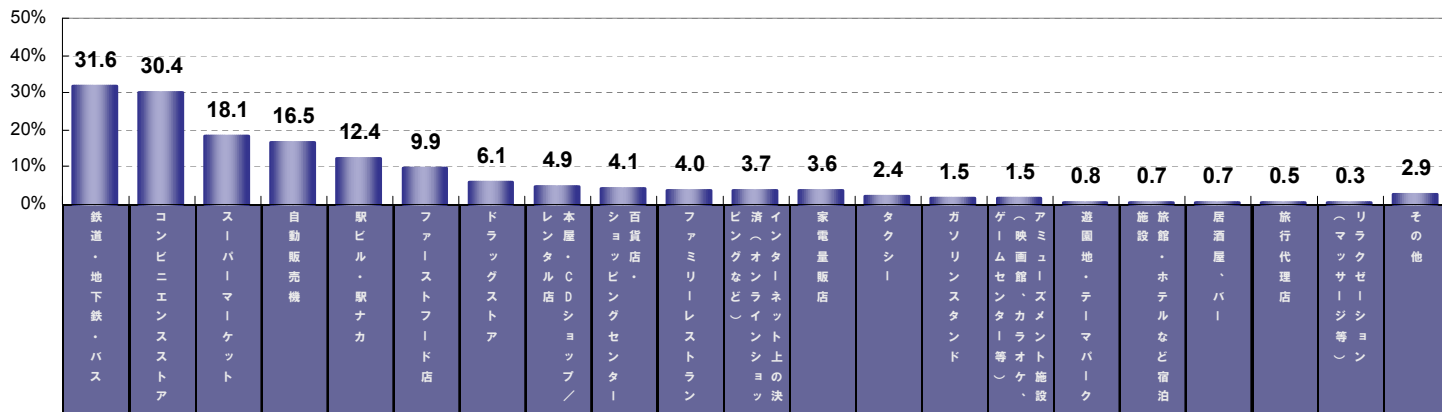
【保有率】



【利用率】



■ 電子マネー利用業種 (N=2530: 電子マネー保有者) 【2013年】

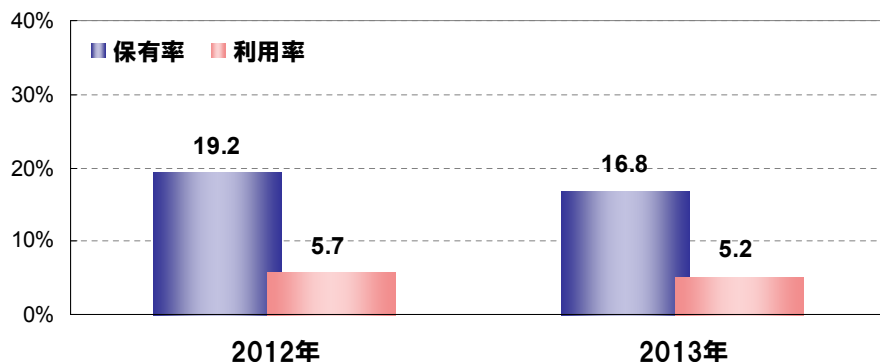


11. デビットカードの利用状況

デビットカードの保有率は17%、利用率は5%と共に減少。最も利用しているのは男性40代。
主な入会理由は「金融機関のキャッシュカードについてきたため」。

- ・デビットカードの保有率は16.8%、利用率は5.2%であった。男性40代の保有・利用が高い。エリア別で大きな差はないものの、甲信越・北陸の利用がやや高い。
- ・デビットカードに入会した理由は、「金融機関のキャッシュカードについてきたため」が61.2%で最も高い。

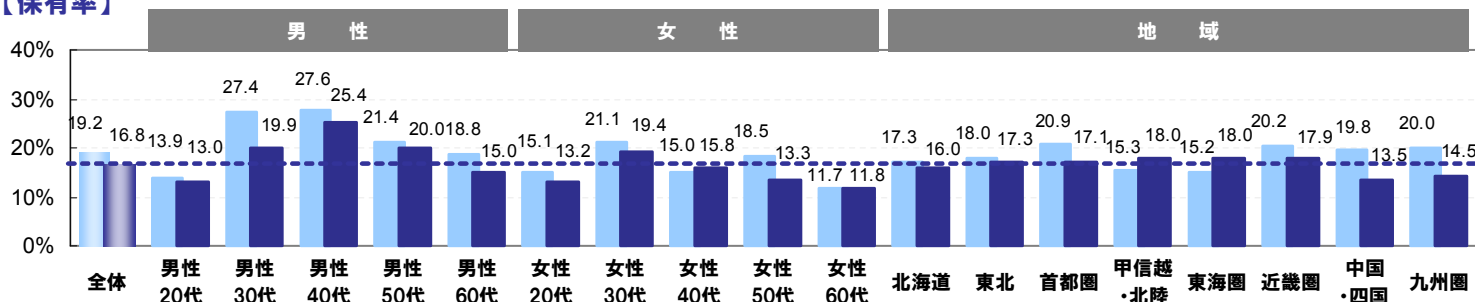
■ デビットカード保有率／利用率 (N=3500)



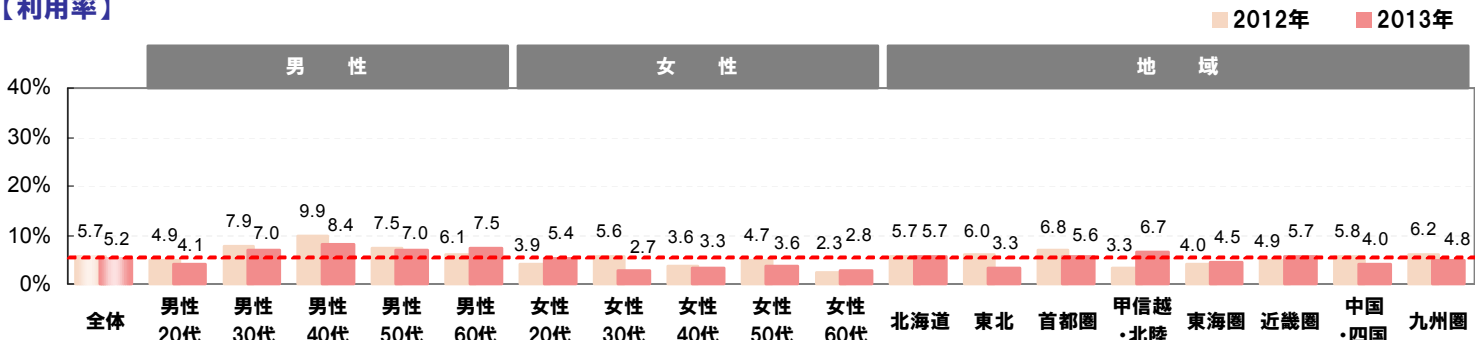
※デビットカードは本調査中で以下のように説明している。
「金融機関の口座から即時引き落としで現金不要、口座残高の範囲でのご利用となるため使い過ぎることがない。金融機関で発行されたキャッシュカードなどにデビットカード機能が付帯しているものもあります。」

※本調査でデビットカードは「銀行などのキャッシュカード(J-debit: デビットカード機能付帯)」、「りそな銀行「りそなVISAデビットカード(JMB)」」、「楽天銀行「楽天銀行デビットカード(VISA)」」、「スルガBK「スルガ銀行VISAデビットカード」」、「ジャパンネット銀行「ワンタイムデビット(VISA)」」、「あおぞら銀行「キャッシュカード・プラス(VISA)」」、「その他」の保有・利用状況からデビットカード全体の保有・利用率を算出した

【保有率】



【利用率】



■ デビットカード入会理由 (N=587:デビットカード保有者) 【2013年】

